

2024年度 第2回マッチングワークショップ (MWS) 実施報告

湘南工科大学 副学長・工学部長 森井亨

梅雨が明け、本格的な夏の暑さの中、本年度第2回となるMWSを7月20日(土)に実施しました。申込みを締め切った時点での参加予定者は32名でしたが、開催日当日の朝までに多数のキャンセルがあったため、最終的に24名の参加者で実施することとなりました。

開始時刻の約30分前から受付を開始し、6つのテーブルに分かれて着席してもらいました。サポート担当の学生が早くに到着した参加者へ声を掛けながら緊張をほぐしていると、徐々に各席が埋まりだし、自然と会話が始まる光景が見られました。開始時刻となり、参加者が全員揃っていることを確認し、ワークショップを開始することとなりました。

【オープニング】

あらかじめ設定された4人ずつのグループに分かれて、全体の進行担当指示のもと、ビブスの着用、ニックネームを記載した名札の準備をしてもらいました。ニックネームは、グループのみんなに呼んでもらいたい名前をシールに書いてもらい、みんなから見やすい場所に貼ってもらいました。準備が整ったところで、全体の進行担当から実施内容、ワークショップを通して心がけてもらいたいこと、進行の概略を説明したのち、これから行うグループワークの環境作りとして、簡単なアイスブレイクを15分程度行いました。開始前にすでに各テーブルでは会話も弾んでいたため、実施する必要はないようにも思われましたが、さらにグループの一体感が作れるよう、定番のアイスブレイクを行い、盛り上がってきたところで、次のグループワークへと移行しました。

【前半のグループワーク】

メンバーそれぞれが2分間で事前に提示されていた課題についての自分の考えを説明し、そのあと20分程度で意見交換を行いました。今回の課題は「日本および諸外国の食料自給率のデータをもとに日本の食糧安全保障」について考えるものでした。事前に調べてきた情報を整理し、自身の意見を交えた発表が各グループで行われていました。発表は、事前にまとめた内容を読み上げるだけでなく、用意してきた資料をテーブルの真ん中に置いて指さしながら説明する人、聴き手にしっかりと伝わるように身振り手振りを交えながら説明する人など、各グループで様々なスタイルの発表が見られました。また、聴き手となった参加者は、自分のメモシートに大事な点や気になった点をメモしながらも、発表者にも顔を向けて、良い雰囲気の中で発表が進行していました。それぞれの発表の後は自由に議論する時間となり、話し足りなかった点を話す人、発表を聴きながら気になった点を質問する人などがいましたが、議論が進むにつれて進行役を務める人、議論内容を整理する人など、自然に役割分担ができていくグループも見られました。事前課題の内容について深く掘り下げ、活発な意見交換が行われていました。

【グループワークのまとめと休憩およびグループ移動】

休憩を含めて10分程度の時間をとり、各自がグループで議論した内容を整理し、次のプレゼンテーションの準備をしました。ほとんどの参加者が休憩時間中も席を離れず、グルー

プのメンバーで話し合いながらメモの整理に取り組んでいる様子が見られました。

【後半のプレゼンテーション】

各グループから 1 名ずつ集めて作った新しいグループで、前半のグループワークで議論した内容を 2 分間で順番に説明してもらいました。その後 2 分間の質疑応答の時間を設け、意見交換が行われました。休憩時間中に作成したメモを見ながら、各自がまとめた議論内容を新しいグループメンバーに伝わるように、資料を見せたり、作成したメモを見せるなどしながら発表を行っていました。また、質疑応答の時間も声が途切れることなく、進行担当が終了を告げるまで、議論が大いに盛り上がるグループも複数見受けられました。その様子からは、まだまだ話し合いを続けていたいという雰囲気が感じられ、参加者の皆さんが議論に夢中になり楽しい時間を過ごしている姿が見られました。

【クロージングと振り返り】

最後に、進行担当の教員から終了にあたっての説明を行い、その後振り返りシートへの記入と簡単なアンケートへの回答を行ってもらいました。最後は、書き終えた人から流れ解散としました。今日初めて会うメンバー同士でしたが、帰り際にはお互いに声を掛けながらにこやかに帰って行く姿が見られました。また、終了後に希望者には個別相談の時間を設け、学科についての詳しい説明を教員から受けている参加者も見られました。

終了後に記入してもらった振り返りシートでは、自分がこの MWS を通して心がけたことがどの程度達成できたか、またどのように改善したら良いかを具体的に書いている人や、他の人の発表内容や参加の様子を注意深く観察し、自分の改善点を書いている人など、しっかりと振り返りができている人もいました。単に何を行なったかだけでなく、そこから何を感じ、どのような取り組みができるかまでまとめることを意識してもらえると、意味のある振り返りとなるでしょう。

この MWS というイベントは、本学の総合型選抜 MWS 方式への出願要件となっていますが、その目的は現在の湘南工科大学での学修の基盤となる「アクティブラーニング」を取り入れた授業と同様の学び方を体験して、本学との相性を測ってもらうことです。本学では MWS のような授業形式を様々な授業で取り入れています。総合型選抜での出願に限らず、湘南工科大学を受験校の 1 つとして考えている皆さんには、是非この MWS に参加してもらい、大学生として学ぶ 4 年間でこの湘南工科大学で過ごすことが自分に合っているかどうかを確認してもらえればと思います。様々な大学がある中で、この MWS が自身に適した大学選びの参考になればうれしく思います。